



3つの災害を乗り越えて

平成16年(2004年)新潟・福島豪雨、平成16年(2004年)新潟県中越地震、
平成19年(2007年)新潟県中越沖地震 の記録

3つの災害を 乗り越えて

関東信越税理士会 新潟県支部連合会

本書は(財)中越大震災復興基金事業である『「震災の記憶」収集・保全支援事業』(実施機関:(社)中越防災安全推進機構)の一環として出版されました。

発刊のごあいさつ



第23代新潟県連会長
井 部 俊 一

平成16年7月13日（火）「新潟豪雨災害」、平成16年10月23日（土）「新潟県中越地震」、平成19年7月16日（月）「新潟県中越沖地震」と3年の短い間に3つの災害が新潟県を襲いました。今、これを書いている時も、隣国中国で「四川大地震」が発生し、被害状況が次々と報道されています。

当初、この「災害資料集」の発刊を決めたとき（平成19年4月）は平成16年の2つの災害を取り上げる予定でしたが、その後「新潟県中越沖地震」が発生したため3つの災害の資料集としてここに発刊いたします。

まず、各災害に対する新潟県連の対応ですが「新潟豪雨災害」と「新潟県中越地震」については、土田幸雄第20代会長・水島敏第22代会長が後に述べておりますので、ここでは「新潟県中越沖地震」について回顧します。

平成19年7月16日（月）午前10時13分、上中越沖を震源とするマグニチュード6.8の地震が発生しました。柏崎市と刈羽村、長岡市では震度6強を記録しました。被害状況は、倒壊建物の下敷きになるなどして15人が死亡し、2,300人余りが重軽傷を負いました。被災した住宅は42,000棟。全壊住宅は7市町村で1,300棟を超え、ピーク時は100ヶ所以上の避難所に約12,000人が身を寄せました。

新潟県連の会員も柏崎支部は全会員が、長岡支部は5人の会員が建物などの被害に遭いました。その他罹災証明までには至らないがたくさんの会員が被害に遭っています。

また、東京電力柏崎刈羽原発では運転、起動中の4基が緊急停止。3号機の変圧器で火災が発生。微量の放射能物質が海に漏れるなどしました。

倒壊建物などの被害はもちろんですが、これに伴う風評被害が、今現在も近隣のみならず県下全般におよんでいます。3年前の中越地震からやっと立ち直りかけていた中小企業にとって痛い打撃であります。壊れた建物は再建できても、観光客は帰って来ません。また何年か厳しい年月

が続くでしょう。

平成19年7月19日（木）は新潟県連の「第54回定期総会」・新潟県税理士政治連盟の「第40回定期大会」が行われました。被災から3日後ということで地震による土砂くずれでJR信越線がストップ、高速道路もストップなどの中、越後湯沢などを迂回してたくさんの来賓及び会員から参加いただきました。

新潟県連では、総会前に正副会長会を開催し対応を協議しました。3年前の中越地震を教訓に、被災会員が一日も早く正常業務に復帰できるように、県連として最大の、かつ、最善のバックアップをすることを確認しました。

具体的には、災害義援金の募集、税務相談会の実施、確定申告期の災害税務支援などあります。

まず、災害義援金の募集ですが県連及び本会会員は基より、全国の税理士会（会員）や関連団体等からご協力をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

次に税務相談会であります。平成19年11月17日（土）に、新潟県下の弁護士等の11士業の皆さんとワンストップ型の被災地での合同無料相談会を実施しました。

次に、確定申告期の災害税務支援ですが、今回の地震に係る援助日数は103日がありました。新潟県連が63日担当、県外の5県連が40日担当しました。3年前も同様ですが県外の5県連の皆さんには、繁忙期にもかかわらず本当にありがとうございました。平成20年1月18日（金）に約100名の会員に参加いただき、新潟税務署職員さんを講師に「雑損控除等研修会」を実施致しました。その後、被災地支部を中心に税務相談を実施いたしました。

最後に、「新潟豪雨災害」・「新潟県中越地震」・「新潟県中越沖地震」と3度、天災が新潟を襲いました。その度に、全国の税理士会員から物心両面の暖かい御援助をいただきました。

「感謝の気持ち！」をいつまでも忘れることなく、被災会員の一日も早い復興を祈念しています。そして、このような災害が、絶対起きないことを祈っています。

この「災害資料集」は3つの大災害での関東信越税理士会新潟県支部連合会の被災者支援活動の総括として、災害体験者の視点に立って、生の被災体験を後世の人々に伝えるべく作成したものです。全国のいつどこで発生するかもしれない将来の災害に備え、被災者支援活動の参考にしていただければ幸いです。

発刊にあたって



災害資料集作成小委員会

委員長 高橋 潔

私たちは関東信越税理士会の会員であり、各支部の会員でもあります。関東信越税理士会には各県単位で県支部連合会という組織があり、新潟県支部連合会（以下新潟県連）の会員でもあります。その新潟県では平成16年7月に新潟豪雨災害が発生しました。更に水害の記憶も覚めやらない同年10月には中越大震災が発生、それぞれ多大の被害が発生致しました。膨大な一般市民の被災者が発生し、税理士会としてもその方たちへ何ができるか、緊急の対応が求められました。本当に大変な出来事だったと思います。そこでその大変な出来事を記録として、また歴史として後世に残しておこうということで資料集の編集を進めていたとき、追い討ちを掛けるように平成19年柏崎を中心とした中越沖地震が発生しました。急遽中越沖地震の資料も加え発行することにいたしました。

この資料集の編集に当たっては

- ① 災害の概要と災害に対する税理士会としての対応
- ② 新潟県連会員の被害状況と回顧（税理士会・税務官公署の対応も含まれます）
- ③ 雑損控除関係の資料

に分類しました。

税理士会としての具体的対応は、税務支援対策部が中心となり、災害発生による「雑損控除」を受ける納税者が大量に発生するであろうとの判断の基、税務官公署、県、市町村と、連絡、打ち合わせ、相談をしながら無料納税相談の準備を進めました。平成16年7月、10月の災害ですので年明け早々から始まる確定申告の準備は大変な作業となります。会員にも多くの被災者がいることもあり、平成16年分の確定申告は被災していない支部よりの応援を行うこととしましたが、申告される納税者を予測すると新潟県連の会員だけでは対応しきれないため、関東信越税理士会を

挙げて対応することになりました。復旧した上越新幹線等で大雪の中を茨城、栃木、埼玉、長野、群馬県連よりの応援会員により、多くの納税者へ対応をしていただきました。その対応に対し一般納税者より感謝の言葉を戴きました。応援戴いた会員の想いをコメントと共に掲載しております。また県内士業で「新潟県士業連絡協議会」を作り情報交換と親睦を行っていますが、この「新潟県士業連絡協議会」に建築士会等も加わってもらい、ワンストップで対応できる合同の相談会を行いました。その記録は弁護士会でまとめたものがありましたので了解を得て掲載いたしました。

また被災した会員も多数居られます。そのときどんな状況であったか、何が大変だったか、どんな教訓を得たかを大勢の会員から回顧していただくことにしました。当時の県連会長、支部長、会員、当時の税務署長等から回顧録を執筆いただいております。それぞれ、いろいろな場面でいろいろな状況でのご苦労が伝わってきます。また苦労の中に家族、友人、全国の大勢の仲間から寄せられた暖かい心も伝わってきます。この災害という不幸な出来事の中にも、家族の絆、友人との友情、新潟県連、関東信越税理士会、会員の素晴らしい連帯感をこの資料集の発刊によって歴史として伝え残しておきたいと思います。

日本は好むと好まざるとにかかわらず、地震、水害等多くの災害が発生します。この資料集は新潟県を中心とした災害の記録ですが、何時、何処で役に立つかもしれません。実際平成16年災害の対応が平成19年の災害で役に立ちました。今後役に立つ場面が無いことを祈りますが、もし不幸にも災害が発生したときに全国各地で参考となる部分があれば発刊の意義もあるものと考えます。

繰り返しますが役に立つ場面が無いことを祈ります。

目 次

発刊のごあいさつ 第23代新潟県連会長 井部 俊一 3

発刊にあたって 災害資料集作成小委員会／委員長 高橋 潔 5

写真集 ~7.13新潟豪雨災害・新潟県中越地震・新潟県中越沖地震のようす~ 9

第1章 災害に対する取り組み 21

7.13水害と新潟県中越地震への対応 第20代県連会長 土田 幸雄 22

中越水害・地震への対応 第22代県連会長 水島 敏 26

各災害の被害状況 28

平成16年7月新潟・福島豪雨の被害状況 28／平成16年10月新潟県中越地震の被害状況 30／平成19年7月新潟県中越沖地震の被害状況 32

災害に対する税務支援について 33

関連士業との連携活動 41

税務相談風景 47

確定申告納談報告 48

税務相談応援メッセージ 53

第2章 7.13新潟豪雨災害 65

管内の被害状況 66

寄稿 66

平成16年度三条税務署長 平林 悟 66／平成16年度三条支部長 関根朝秋 68／三条支部 石川勝行 69／三条支部 勝見悦行 72

関連新聞記事 74

第3章 新潟県中越地震 77

管内の被害状況 78

寄稿 78

平成16年度長岡税務署長 浅間 博 78／平成16年度小千谷税務署長 若林正幸 80／平成16年度長岡支部長 古川 和夫 82／長岡支部 内山 晃 84／長岡支部 石原新一 87／長岡支部 高橋泰雄 89／平成16年度小千谷支部長 大竹一夫 91／小千谷支部 佐藤昭夫 92／小千谷支部 杵渕一夫 95／小千谷支部 渡辺浩行 97／平成16年度十日町支部長 水落信市 100／十日町支部 和久井工 101／十日町支部 酒井栄一 104／十日町支部 高橋 實 105

関連新聞記事 107

第4章 新潟県中越沖地震 113

管内の被害状況 114

寄稿 114

平成19年度柏崎税務署長 中畠 学 114／平成19年度柏崎支部長 森山昭彦 115／柏崎支部 土田 茂 117／柏崎支部 大野 力 119／柏崎支部 三輪 裕 121／

関連新聞記事 123

資料編（CD-ROM） 125

編集後記 126

〈災害の名称について〉

本冊子内で使用されている災害の名称は、気象庁発表による各災害の正式名称と異なる場合があります。ご了承ください。

写真集 [7.13新潟豪雨災害のようす]



浸水した三条市内



増水する五十嵐川



決壊した五十嵐川①



決壊した五十嵐川②



浸水した三条市内



水没した家財をゴミとして処分する業者 三条市内



越水により流入したドロ



復旧作業前の決壊現場 五十嵐川



水が引き始めた三条市内



水害ゴミの山 三条市内



競馬場に集められた水害ゴミ 三条市内



水害ゴミの山 三条市



中之島町　流入する水



中之島町　水害ゴミの山



見附市内の工場　復旧作業



見附市内の浸水

写真集 [新潟県中越地震のようす]



妙見崩落現場



あちこちで起こったマンホールの飛び出し現象



地震の翌朝



崩落により埋もれた土砂の中から子供が救出された現場近辺



長岡市悠久山の蒼紫神社



崩れたお墓



長岡市悠久山付近



長岡市悠久山公園



長岡市悠久山蒼紫神社の崩れ落ちた石橋



長岡からの国道はあちこちで通行止



長岡市悠久山付近



長岡市悠久山公園



崩れ落ちたビール瓶の山



脱線した新幹線

写真集 [新潟県中越沖地震のようす]



柏崎市東本町





柏崎駅脱線電車



柏崎市東本町



柏崎市東本町三丁目



羽森神社



柏崎港



柏崎港



柏崎市四谷一丁目



信越線青海川駅